

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		地すべり防止		路河川名等					
事業毎の通番		1	市町村名	飯山市	箇所名(ふりがな)	堰口(せぐち)			
事業概要	事業目的	H28.4月、地すべり防止区域内の山腹斜面で地すべりが発生した。地すべり土塊は末端部の既設谷止工により下方への移動を停止しているが、今後の降雨・融雪等により活動が活発化し、下方の農業用水路(関係農地133ha)及び人家、市道に被害を及ぼす恐れがあるため、早期の対策が必要な状況となっている。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	地すべり等防止法				
	関連する事業、計画等	なし							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家2戸、市道100m、農業用水路200m(受益農地135ha)、農地3ha							
	着手年度	平成29年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	2.32		国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	谷止工1個 山腹工1.80ha、暗渠工1,320m、水路工550mほか			120,000	60,000		54,000	6,000
年度事業内容(主な工種)	調査設計一式 谷止工1個			55,000	27,500		24,750	2,750	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	下方保全対象への被害防止、農業用水路の通水確保							
	間接的効果(定量的・定性的)	地すべり防止区域から1級河川長沢川への土砂の流出防止							
評価の視点	必要性	○人家戸数: 2戸 ○公共施設数: 2(市道、農業用水路) ○災害時要援護者関連施設の有無: 無 ○保安林・林業用施設: 保安林率3.3%					評価		
							B		
	重要性	○過去の災害履歴: H28年4月融雪災 ○交通遮断による地域経済への影響: 市道通行止めの影響 ○地域防災計画上の位置付け: 位置付けあり(地すべり)					評価		
							A		
	効率性	○費用便益比(B/C): 2.32 ○事業期間: 3年間 ○工法等の比較検討 調査設計委託において実施中					評価		
							A		
緊急性	○地すべり滑動度: 顕著な動きあり ○地すべり変状: 変状あり ○下流の堰堤等の整備状況: 1基あり 異常堆砂					評価			
						A			
計画熟度	○事業情報の共有: 飯山市を通じて地区代表者と共有 ○地域の取り組み: 事業への要望あり ○地域の合意形成: 合意形成あり ○住民との協働: 保全対象水路の点検に合わせ、上方の地すべりについて確認をしている					評価			
						B			
部意見	既地すべり区域内においてH28年4月に地すべりが発生した。放置すれば拡大する恐れがあり、下方に農業用水路等があることから、対策を行う必要がある。	行政改革課意見	今後の降雨等により地すべり活動が活発化する恐れがあるため、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A		

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
	<p>位置図</p>	<p>平面図</p>
事業概要説明図表	【整備の必要性がわかる状況写真等】	
	<p>下部谷止工上部の異常堆砂状況</p>	<p>上部滑落崖の状況</p>
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	昭和49年・50年、平成2年に指定された地すべり防止区域内。今回の地すべり箇所周辺において昭和49年～平成12年にかけて、地すべり対策工事を実施した。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成28年4月、農業用水路の点検を行っていた地元住民が、用水路上方の山腹において融雪期によると思われる地すべりの発生を発見し通報。県・市合同で調査を行った。
	③事業説明等の経緯	H28.7月地元代表者へH29年度新規事業計画箇所として県要望中であることを市を通じて説明済み。
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	なし
	⑥地域活性化への影響と配慮	なし
	⑦その他	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 52' 50" 東経:E 138° 18' 35"